

## 危険な雨量はご存じですか？

大雨や長雨で危険と思ったら、早めに避難しましょう。1時間に20ミリ以上、また降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら、十分な注意が必要です。

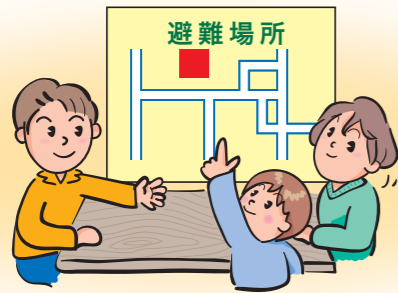


### 雨の強さと降り方

1時間雨量(ミリ)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内(木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10~20	やや強い	ザーザーと降る	地面の跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20~30	強い雨	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる			ワイパーを早くしても見づらい
30~50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る		寝ている人の半数ぐらいが雨に気がつく	道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが利かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50~80	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴゴと降り続く)	傘はまったく役にたたなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる				

## 避難場所は決めてますか？

普段から家族全員で、避難場所、避難する道順を決めておきましょう。災害が起きた時、家族が全員一緒にいるとは限りません。そんな時も、あらかじめ避難場所を決めておけば安心です。



県内各地の雨量、お近くの河川水位は  
サイボス レーダー  
**SIPOS-RADAR** から  
キャッチ!

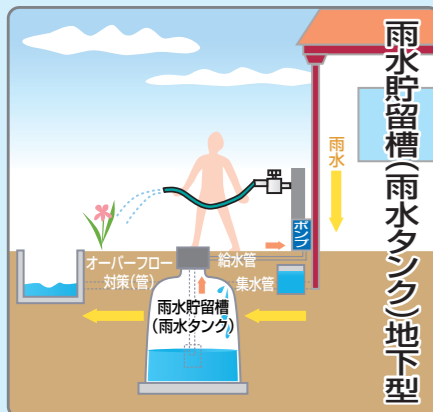
【インターネット URL】  
<http://sipos.shizuoka2.jp/>  
【携帯電話】  
〈i-mode〉  
<http://sipos.shizuoka2.jp/i/>  
〈Vodafone〉  
<http://sipos.shizuoka2.jp/v/>  
〈EZweb〉  
<http://sipos.shizuoka2.jp/ez/>

# 安全で安心

して暮らせる未来を!

仿僧川 総合的治水対策

## 流域みんなで協力しましょう



総合的治水対策は、流域のみならず一人ひとりの力が必要です。小さな力が集まれば、大きな力になります。安全で安心して暮らせる豊かな未来のために、流域一丸となって総合的治水対策に取り組みましょう。

- 雨の日は「風呂の水」を流さないようにしましょう。
  - 洪水のとき、地域の防災活動に参加しましょう。
  - 自宅に「雨水貯留施設」または、「浸透施設」を設置するようにしましょう。→ 不用になった浄化槽を雨水貯留槽として転用するための補助制度があります。
- 問い合わせ先は、磐田市下水道課 (TEL.0538-37-6951)

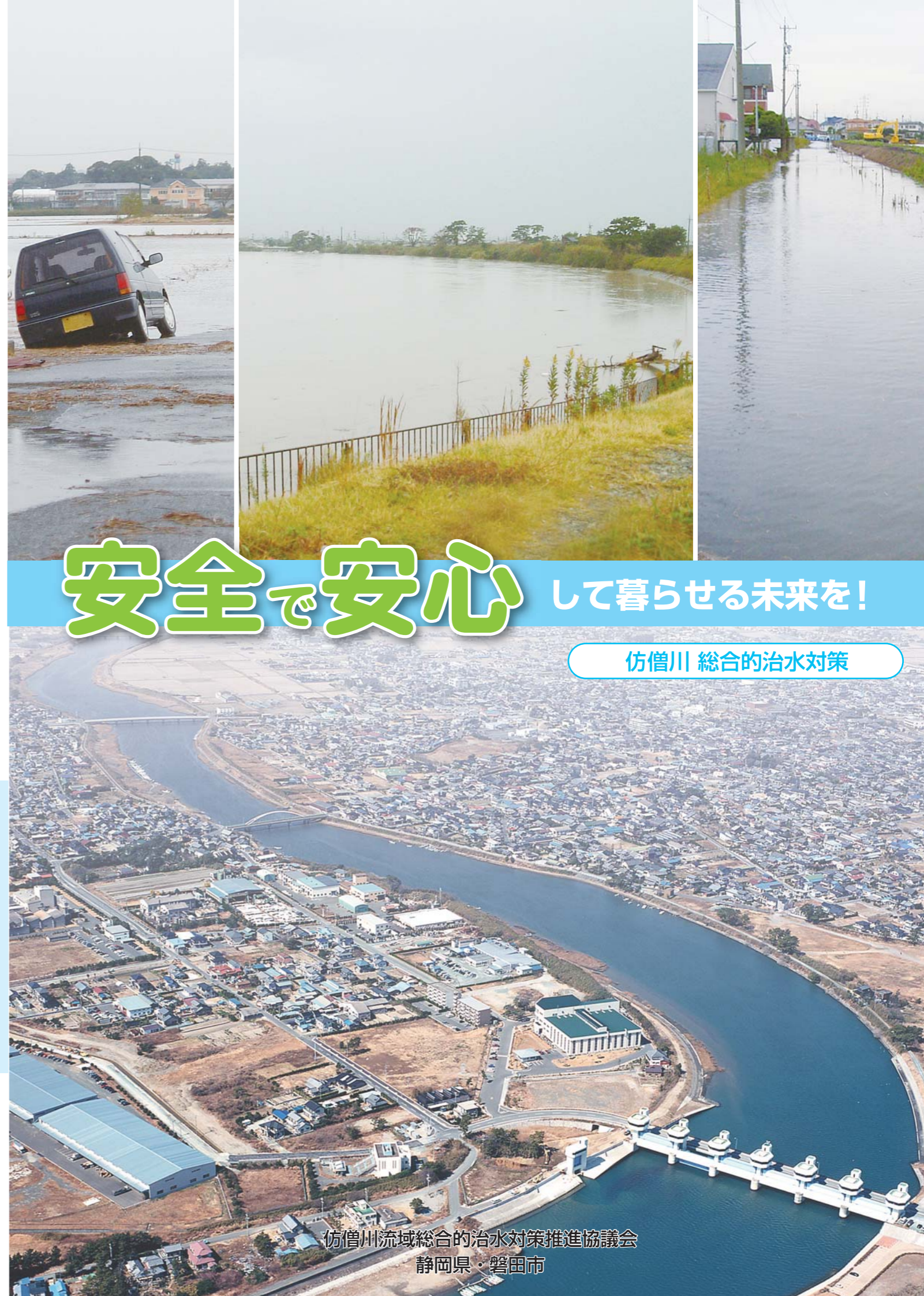
はじめよう!  
あなたにもできる  
身近な治水対策



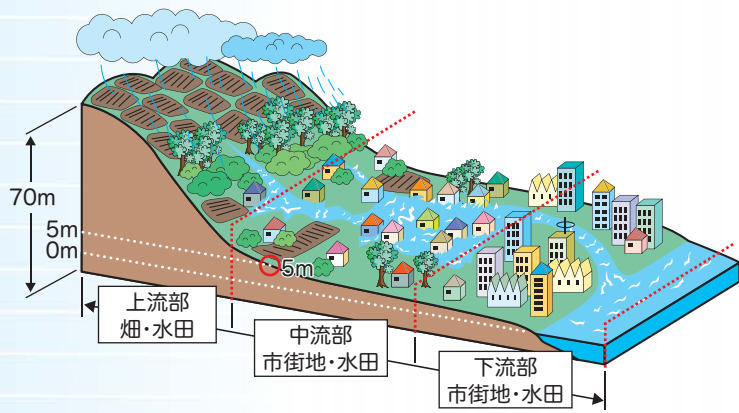
仿僧川流域総合的治水対策推進協議会事務局  
静岡県袋井土木事務所 磐田市  
静岡県袋井土木事務所 企画検査課・河川改良課  
〒437-0042 静岡県袋井市山名町2-1  
TEL.0538-42-3289 FAX.0538-43-0919  
ホームページ <http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki/fukuroi/>  
磐田市 維持管理課  
〒438-8650 静岡県磐田市国府台3-1  
TEL.0538-37-4808 FAX.0538-32-3948

R100  
古紙配合率100%再生紙を使用しています。  
発行 2005.4

仿僧川流域総合的治水対策推進協議会  
静岡県・磐田市



# 仿僧川は浸水被害が発生しやすい川です！

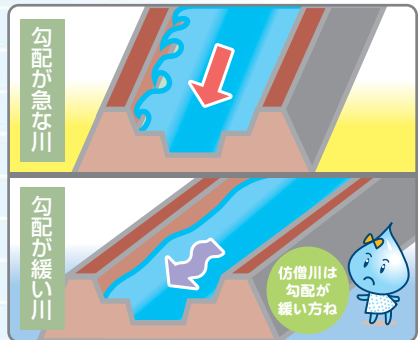


仿僧川流域は、海拔5m以下の低い土地が広いため、雨水が貯まりやすい地形ですが、近年は低平地でも市街化が進み、人口と資産が増加しています。このような都市化した流域では、ひとたび大洪水に襲われるとその被害は甚大なものになります。



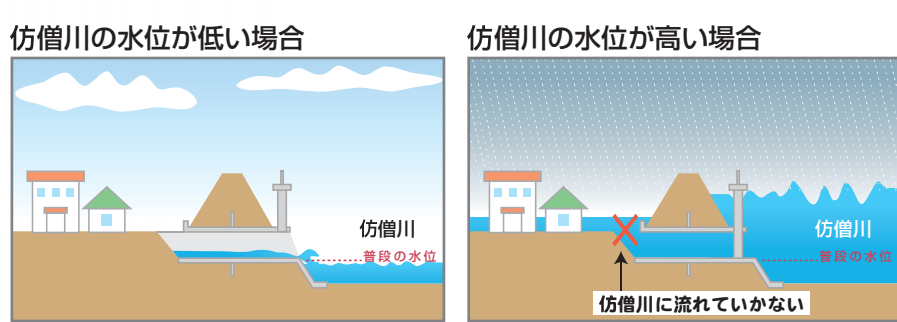
## ① 流下能力不足

仿僧川は、川の勾配が緩いため水が流れにくく、洪水時には水位が上がりがやすい川です。



## ② 内水氾濫

下流域の仿僧川、今ノ浦川では、洪水時の河川水位が高いため、雨水を川へ排水できなくなり、浸水が発生します。



## 近年の洪水

仿僧川流域はこれまでも、いくどとなく浸水被害に見舞われています。近年では、平成10年9月23日、平成16年11月11日に発生した集中豪雨は、流域に大きな被害を与えました。

	平成10年9月洪水	平成16年11月洪水
時間最大雨量	61mm	68mm
総雨量	221mm	257mm
浸水面積	334 ha	472 ha
床上・床下浸水	308 棟	224 棟
備考		磐田市の2,290世帯に避難勧告が出されました。

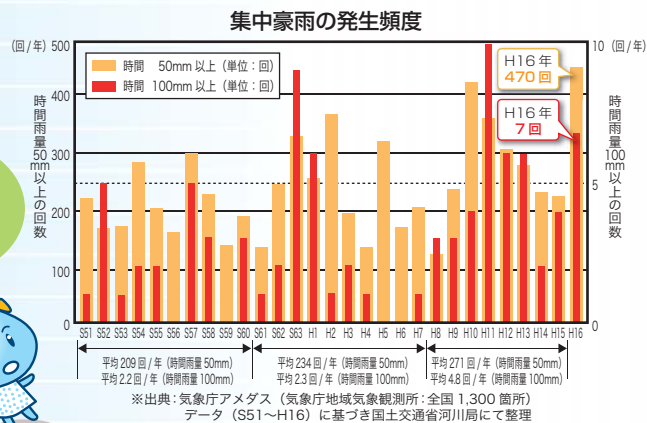
## 洪水氾濫危険区域図



洪水氾濫危険区域図は、現在の河道の状況で、大雨が降り、異常な洪水流等により、堤防が破堤した場合を想定して、そのときの浸水状況をシミュレーション計算により求めたものです。  
詳しくは下記のHPをご覧ください。  
<http://doboku.pref.shizuoka.jp/Topics/kasen/kiken/Ota-Zen.htm>

## 大雨はいつ起こるかわかりません！

近年、各地で集中豪雨の発生頻度が高くなっています。平成16年6月30日の静岡豪雨のように、観測史上最大級の大雨がいつ起こるかわかりません。このため、流域のみならず、協力を得て浸水被害を少しでも減らす努力が必要です。



# 流域全体で「総合的な治水対策」に取り組むことが必要です！

将来起こりうる大雨によってもたらされる浸水被害から流域を守るために、河川を計画的に改修していくことに加え、流域内で雨水を貯めたり、もしもの場合でも被害を増やさないような様々な工夫が必要となります。県・市・地域住民が連携して取り組むことが重要です。

## ハザードマップの作成、公表

水害時に予想される浸水範囲や避難場所を示した地図を公表して、防災意識の向上を図り、もしもの時に備えます。



## 湛水防除事業の調整池

湛水防除事業で設置する5つの調整池(①大池、②安久路、③向陽、④加茂、⑤柴田山)を活用して、下流へ流れる水を減らします。



## 河道改修(今ノ浦川)

川幅を広げるとともに、川底を掘って、水を多く流せるように改修します。



## 河道改修(仿僧川)

川底を掘って、水を多く流せるように改修します。



## 雨水貯留施設

学校のグラウンド、公園、駐車場、建物と建物の間を利用して整備します。



## 雨水ポンプの運転調整

大雨時に破堤の危険性が生じた場合、雨水ポンプの排水量を調整して破堤の危険性を回避します。(図中の●印は、既設ポンプ位置)

## 河道改修

下流部の川幅を広げるとともに、川底を掘って、水を多く流せるように改修します。

## 河道改修(太田川)

太田川の下流部を改修して、仿僧川の水を多く太田川へ流せるように改修します。



この地図は国土院刊行の1/50000地形図(磐田、掛塚)を使用しました。